

平成26年度学校評価シート（重点課題2 公の場での意見表出）

重点課題	公の場での意見表出		P												
具体目標	・ 県学習状況調査の質問紙調査において、「意見表出」に関連した質問項目が県平均を上回る。														
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「分からない時やもっと知りたいとき質問することが苦手」と答える児童の割合 ⇒ (H24 : 4.6 %、H23 : 17.1 %) ・ 「自分の考えを他の人に説明することが苦手」と答える児童の割合 ⇒ (H24 : 6.9 %、H23 : 19.3 %) 														
目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心開かれたあいさつの励行 ・ 根拠をもとにした、自分の意見や考えの表出 														
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①心開かれたあいさつの励行 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「あいさつ+ワン」運動を継続する。 ②根拠をもとに、自分の意見や考えを述べる <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活・総合におけるアウトプット型（発信型）授業スタイルを充実深化する。 → 「太田のお宝」発信（沖縄県糸満市との交流を活用） ・ ペア・グループ・全体等の様々な形態で、意見交換・討論のスキルを鍛える。 → パネルディスカッション・ディベートを導入 ・ 修学旅行先での職場体験で「太田のお宝」PR活動を行う。 ・ 「発表集会」を定期実施する。（月1回） 		D												
達成状況	<p>1 H26 県学習状況調査結果</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>90.4</td> </tr> <tr> <td>太田南小</td> <td>98.6</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>授業で自分の考えを発表する機会がよくある</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>89.0</td> </tr> <tr> <td>太田南小</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>		地域	割合 (%)	秋田県	90.4	太田南小	98.6	地域	割合 (%)	秋田県	89.0	太田南小	100.0	D
地域	割合 (%)														
秋田県	90.4														
太田南小	98.6														
地域	割合 (%)														
秋田県	89.0														
太田南小	100.0														
教職員による自己評価	B	<p>(根拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ペア学習やグループ学習を多く取り入れたことで、全体の場で発表することを苦手に行っている子どもも、活発に話し合うことができた。 ○ 「発表集会」によって、全体の場で臆せずに発表できる子どもたちが増えた。特に、「南っ子グループ」での詩の暗唱は、とても良かった。 ○ 始業式・終業式等のあらたまった場では、ノー原稿で発表できるようにした。ノー原稿でも、発表できる力が付いてきている。 ○ 総合では、「太田南小型探究学習」を行った。4年生では、沖縄県糸満市の小学生に「太田の宝（横沢曲がりネギ、横沢ささら等）」を伝える活動を行ったが、自分たちで調べたことをもとに、自信を持って発表した。質問にも的確に答える力が付いてきた。 ○ 6年生は、パワーポイントを使ってプレゼンテーション資料を作り、それをもとにプレゼンできるようになった。 	C												

C・S推進委員による学校関係者評価と意見	(年度) A	(意見) ・子どもたちが大人である自分の名前を覚えて、「〇〇さんですね。僕は、どこそこの〇〇です。」とあいさつしてくれるようになった。 ・パワーポイントを使ってプレゼンできることは、素晴らしい。これからの時代に必要な能力だと思う。	C
自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・人前でも臆せずに発表する力は、確かに付いてきていると実感する。しかし、「公の場での意見表出」は、太田地域の長期的課題なので、引き続き改善に努めていきたい。 ・次年度は、発表や意見交換のスキルを一層高めるために、「特別活動」を研究課題に据えて全校体制で取り組むことも必要と考えられる。 		A

〔評価基準〕

A：具体的な活動がなされ目標を達成できた

B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない

C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない